

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書	
技術分野	5、6 (特に6) (「技術提案募集の内容」の該当番号を記載願います)
御提案件名	福島第一原子力発電所における地下水観測
御提案者	丸井 敦尚
<p>1. 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者など)</p> <p>国は福島第一原発の地下水管理の方針を“近づけない”、“漏らさない”、“取り除く”としている。これに対応して地下水の動きを予見的に観測し、抜本的な対策の範囲・限界を見極める必要があり、同時に国民の理解を得るには、解析に頼るのではなく実際のデータを踏まえて議論しなければならない。そのために、敷地に入る水と敷地内を移動する水、敷地外へ流出する水を的確にとらえる観測システムをデザインする必要がある。</p> <p>提案文書には図も入っているので、添付資料として送ります。 よろしくお願いたします。</p>	
<p>2. 備考 (以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発・実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む) 既存技術で十分に対応できるものを書きました。地域の皆様に納得してもらえるような観測デザインを国が責任を持って作るための下支えになることを願っています。 ・開発・実用化に向けた課題・留意点 汚染地域での仕事になるため、人員の確保が課題であると考えます。 ・その他 (特許等を保有している場合の参照情報等) 特許などはありませんが、この提案が実現された暁には、米国地質調査所 (USGS) とベルリン工科大学、ハワイ大学などの協力を得る予定です。 	

(備考) 技術提案募集の内容 (6分野)

- ① 汚染水貯蔵 (タンク等)
- ② 汚染水処理 (トリチウム処理等)
- ③ 港湾内の海水の浄化 (海水中の放射性物質の除去等)
- ④ 建屋内の汚染水管理 (建屋内止水、地盤改良等)
- ⑤ 地下水流入抑制の敷地管理 (遮水壁、フェーシング等)
- ⑥ 地下水等の挙動把握 (地下水に係るデータ収集の手法、水質の分析技術等)